

施策マネジメントシート（令和 6 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	5	政策名	みんなでささえあう やさしいまち	
	施策 No.	4	施策名	じんけん尊重社会の確立	
施策主管課	人権・同和対策室		施策関係課名	生涯学習課・企画政策課	

1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)						
市民		人権侵害や差別をしないようにする						
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因 1) 概ね達成。年齢別で見ると、65歳以上の方については目標値を下回っていることから、高齢者層への人権・同和問題に対する啓発は引き続き必要である。 2) 概ね達成。「この1年間に人権侵害を受けたと思う市民の割合」は、昨年より減少してきたものの、目標を達成することができなかった。様々な要因が考えられるが、パワーハラスメントによる人権侵害、ネット等による誹謗中傷による人権侵害、地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けたことなどがアンケートの結果から一つの要因として考えられる。
1	人権侵害や差別をしないようにしたいと思う市民の割合	%	目標値 実績値 達成率	92.7 91.4 98.6%	92.8 93.2 100.4%	92.9 91.5 98.5%	93.0 90.0	
2	この1年間に人権侵害を受けたと思う市民の割合	%	目標値 実績値 達成率	10.7 13.6 78.7%	10.4 11.2 92.9%	10.2 10.7 95.3%	10.0 9.0	
3	(参考) 講演会、研修会、出前講座参加者数	人	目標値 実績値 達成率	— 2,319 —	— 2,527 —	— 2,611 —	—	
4			目標値 実績値 達成率					
5			目標値 実績値 達成率					

2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
じんけん教育・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する地域社会をつくることを目的に講演会、映画会を実施し、人権に対する意識啓発を行った。 ・市職員等を対象に研修会を開催し、人権に対する意識啓発を行った。 ・人権啓発推進に関する情報を市報やHPを通じて情報提供を行った。 ・企業への出前講座を行い、パワーハラ防止などの意識啓発を行った。
人権相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象に、人権擁護委員による人権に関する相談窓口を開設した。 ・法務局が実施している「みんなの人権110番」等について、市報やHPを通じて情報提供を行った。

3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの普及に伴って、人権問題は複雑化、ヘイトスピーチや性的指向・性自認、子どもの貧困等に関わる新たな課題も生じている。 ・じんけん尊重社会の確立に向けて、全ての人があらゆる人権問題に対して自分自身の課題として関心を持ち、「人権侵害をしない」「差別をしない」という市民の意識を醸成していくことが必要である。 ・高齢者に対して情報発信が必要である。 ・講演に参加された方が地域住民等に伝えていく方法の検討が必要である。 ・市民が参加しやすいコンテンツの検討が必要である。 ・パワーハラについては、企業への出前講座の継続実施と新規拡大が必要である。
--

4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題については、今後も正しい理解と認識を高めていくため、引き続き、講演会、研修会、出前講座等の教育・啓発活動を行っていく。また、おぎツクールなどの媒体活用を活用した啓発活動や各種団体及び企業に対して研修の勧奨などを行っていく。 ・年齢を問わず、市民が参加しやすい事業を展開する。（動画サイトやSNSの活用など）
